

日本臨床検査専門医会

平成 19 年度第六回常任幹事会議事録

平成 19 年 12 月 14 日

平成 19 年度 第六回常任幹事会議事録

開催日時：平成 19 年 12 月 14 日(金)、15 時～16 時 30 分

場 所：日本臨床検査医学会事務所

参加幹事：森三樹雄、水口國雄、石和久、〆谷直人、橋詰直孝、宮地勇人、
佐藤尚武

参加監事：なし

オブザーバー参加：渡辺清明（オブザーバー参加）

出席 8 名

欠席：熊谷俊一、池田 斉、玉井誠一、濱崎直孝

欠席 4 名

(敬称略)

議事録署名人に、水口國雄副会長、石和久幹事を指名して議事に入った。

報告事項

(1) 平成 19 年度中間会計報告（資料 1）（佐藤庶務・会計幹事）

11 月末〆での中間決算状況を資料として提示し、報告を行った。

第 5 回常任・第 3 回全国幹事会で報告したものとほぼ同様であるが、収入部門では会費と広告収入の納入率がやや上昇している。全体としては 100%を超えている。

支出部門では人件費が予想通り 100%を超えた。予算の執行率は 80%強である。

(2) 各種委員会報告

① 情報・出版委員会（石委員長）

特になし。

② 教育研修委員会（資料 2）（宮地委員長）

11 月 24 日開催の委員会議事録を資料として提示の上、以下の通り報告があった。

日本臨床検査医学会の臨床検査専門医卒後研修カリキュラム案に対して当会から修正案を提出したが、同学会の評議員会で提示された案を見る限り当会の意見は反映されていない。この点について佐藤幹事に日本臨床検査医学会教育委員会に対し事情を確認するよう依頼した。

次年度以降の教育セミナーについては以下のような基本方針を決定した。

1) 生涯教育機能を強化する。

2) 専門医試験受験者向けのセミナーは内容を変更して継続する。

具体的には実技実習形式からデモ形式に変更する。来年以降、デモ用教材の作成も行う。

3) 研修施設ネットワークを構築する。

平成 20 年度の教育セミナーについては以下のように決定した。

- 1) 関西でのセミナーを廃止し、セミナーの開催回数を 3 回とする。
- 2) セミナー担当施設のうち、防衛医大を東海大学医学部に変更する。
- 3) 慶應大学と東海大学の担当分野について組み替えを行う。

具体的には慶應大学が「血液学」と「生化学（一般検査を含む）」を担当し、東海大学は「細菌学」と「免疫学（輸血検査を含む）」を担当する。

- 4) G L M 教育セミナーは従来通りの内容とする。

③ 資格審査・会則改定委員会（橋詰委員長）

特になし。

④ 渉外委員会（佐藤庶務・会計幹事、池田委員長欠席のため）

特になし。

⑤ 未来ビジョン検討委員会（資料 3）（メ谷委員長）

11 月 24 日開催の委員会議事録を資料として提示の上、以下の通り報告があった。

未来ビジョン検討委員会は今年度でひとまず活動を終了するが、来年以降の活動について討議した。その結果、本委員会は一度仕切り直しをし、来年度から未来ビジョン検討委員会を再スタートさせることを幹事会に要望することになった。また再スタートする場合は委員長として安東由喜雄委員を推薦すること、従来の委員会ではなく適当な委員会の下部組織としての小委員会でも構わないこと、が合わせて報告された。

- 本件については渡辺次期会長に一任することになった。
- 渡辺次期会長からは、新設する「臨床検査専門医在り方委員会」で検討してもらおう方針である旨発言があった。

⑥ 保険点数委員会（水口委員長）

特になし。

(3) 平成 20・21 年度役員について（資料 4）（佐藤庶務・会計幹事）

平成 20・21 年度役員の一覧が資料として提示され、以下の通り報告された。

会 長：渡辺清明

監 事：高木 康、水口國雄

副会長：熊谷俊一、渡邊 卓

常任幹事：佐藤尚武、佐守友博、土屋達行、宮地勇人、村田満、矢富裕

全国幹事：市原清、伊藤喜久、今福裕司、大谷慎一、康 東天、木村 聡、

熊坂一成、小出典男、犀川哲典、三家登喜夫、館田一博、

橋本琢磨、深津俊明、藤田直久、前川真人、松野一彦、

満田年宏、宮澤幸久、保嶋 実、山田俊幸

(4) 平成 20 年度各委員会の委員について（資料 5）（佐藤庶務・会計幹事）

各委員会の委員名簿が資料として提示され、委員長が以下の通り報告された。

演習を実施すること、日本大学商学部の高橋淑郎教授に指導をお願いすることが報告された。

- 前回の幹事会で提示した次年度予算案にはデモ教材の作成費用は計上していないが、来年度への繰越金は当初予定を 200 万円以上上回る見込みなので、費用の捻出は可能と考える。(佐藤庶務・会計幹事)
- 審議の結果、本件は承認された。

(4) 臨床検査専門医・管理医審議会への要望事項について (佐藤庶務・会計幹事)

来週開催される臨床検査専門医・管理医審議会では、宮地教育研修委員長から要望があった臨床検査専門医のための研修ネットワーク構築を日本臨床検査医学会に対して要望する旨説明があった。

- 審議の結果、本件は承認された。

(5) JACLaP NEWS No. 100 特集号について (森会長)

JACLaP NEWS は現在 No. 97 まで発行されており、年明け早々には No. 98 が発行される予定である。従って来年前半に No. 100 が発行されることになるが、これに関して初代編集主幹を務めた昭和女子大学大学院の戸谷教授から記念特集号を発行してはとの提案があった旨報告された。

- 審議の結果、本件は次年度に発生する案件であり、対応については渡辺次期会長に一任された。
- 渡辺次期会長からは JACLaP NEWS No. 100 を記念特集号とし、編集は戸谷教授に任せたい旨発言があった。

(6) その他

① 会長退任について (森会長)

本年末で会長としての任期が満了する旨挨拶があり、これまでの活動に際しての各役員、各委員および事務職員の協力に対し謝辞が述べられた。

以上

議事録署名人

平成 20 年 2 月 18 日

石 和久 印

平成 20 年 2 月 12 日

水口 國雄 印